

第179回ギャラリーコンサート 音楽の庭

ヴィオラ・ダ・ガンバとリュートで巡るヨーロッパのバロック

と き 2019年7月27日(土) 午後2時開演
と ころ 下関市立美術館 光庭
入 場 料 無 料

※ただし2階でお聴きになる方は、所蔵品展の観覧券をお求めになるか、友の会会員の方は会員証をご提示ください。

【出演者】 ホアン・マヌエル・クィンターナ、野入 志津子
【プログラム】

- ☆ ドメニコ・ガブリエリ / ソナタ ハ長調
 - ☆ アルカンジェロ・コレッリ / ソナタ ニ長調 作品5-11
 - ☆ カール・フリードリヒ・アーベル / 無伴奏バス・ヴィオラ・ダ・ガンバのための四つの小品 ニ短調
 - ☆ マラン・マレ / 組曲 ト短調 ~ ヴィオール曲集第3巻から
 - ☆ ヨハン・ゼバスティアン・バッハ / チェロ組曲1番 BWV1007(リュートソロ)
- ※演奏曲目および曲順は変更することがあります。

【プロフィール】



◇ホアン・マヌエル・クィンターナ / ヴィオラ・ダ・ガンバ

アルゼンチンのブエノスアイレス生まれ。ジュネーブ音楽院、パーゼル・スコラ・カントルム、パリ国立音楽院で学ぶ。リカルド・マサン、アリアンヌ・モレット、パウロ・パンドルフォ、クリストフ・コアンに師事。1995年以來、エスペリオンXXなど著名なバロックアンサンブルやオーケストラと共演、ヨーロッパの主要なステージで演奏。

近年は、指揮者としても活発に活躍するほか、ヴィオラ・ダ・ガンバの教授として、ヨーロッパや南米に招聘され、後進の育成にも取り組んでいる。

ディスコグラフィー：ハルモニア・ムンディからリリースされたバッハのヴィオラ・ダ・ガンバソナタ集、マレ組曲集、ブクステフーデのトリオ・ソナタのCDは国際批評家から賞賛を受け、ディアパソン金賞、Choc

du Monde de la Musiqueを受賞、クラシック賞(カンヌ)賞にノミネートされた。2009年、ブエノスアイレス市から、10年間における最高の器楽奏者としてKonex賞を受賞。

◇野入 志津子 / アーチリュート

京都生まれ。同志社女子大学音楽学科、パーゼルのスコラ・カントルム卒。岡本一郎、オイゲン・ドンボア、ホプキンソン・スミスに師事。京都音楽協会賞。スコラ・カントルムで1991年ソリストディプロマを得た後、アムステルダムを拠点に活動している。

アンサンブル“Les Plaisirs du Parnasse”のメンバー。古楽界の巨匠ルネ・ヤーコブスの専属リュート奏者として、ヨーロッパ各国はじめ米国、イスラエル、アルゼンチン、オーストラリアで、オペラやオラトリオの上演を続けるほか、ソリスト及び通奏低音奏者として、世界の先導的なアーティストやアンサンブルと活動を共にしている。

ディスコグラフィー：フィリップス(イムジチ合奏団)、ハルモニア・ムンディ・フランス(ルネ・ヤーコブス指揮)、WDR、BIS、Symphonia、Zig-Zagなどのレーベルに録音。ソロのCDはレグルスから“G. A. Casteliono, Intabolatura de Leuto”“Giovanni Zamboni, Sonate d’Intavolatura di Leuto”をリリース。レコード芸術誌特選版。2017年、Acoustic reviveから“Aure Nuove 薫る風、新しい様式によるリュートのためのトッカータと舞曲”をリリース。



主催 下関市立美術館 下関市立美術館友の会

お問合せ 友の会事務局 083(242)0300